

令和6年1月25日 第2回有識者委員会開催 テーマ/業務実践指針案の作成

委員長/太田信介、委員/富山英幸、西彩、前田博之、特別委員/山下ますみ（敬称略、五十音順）

- **理事長さん、幹部の皆さん、土地改良区をより地域に開かれた組織に。女性の理事をそのきっかけと考えていただけませんか。**
期限の2025年度まであと2年あります。我々の力で次世代につなげていきましょう。
- **本会議では、女性の理事登用の次のステップに向けた、職員の登用（仕事の見直し）について話し合いました。**

男女共同参画の視点を含めた



全国水土里ネット
室本専務理事

土地改良区の男女共同参画の次のステップとして、女性だけでなく、高齢者や非力な人々が参加するために、これからの土地改良はどうしたらいいのかという議論になってくると考えます。農業生産基盤の整備と保安全管理を担う土地改良区の体制強化を図るためには、やはり男女共同参画を積極的に進めなくてはいけないという思いを持っています。

土地改良区の未来のために、みんなが参加できる視点での仕事の見直しを行うことは重要。これらを妨げるのは、**無意識の思い込み**（アンコンシャス・バイアス）ではないでしょうか。「女性はこう」「男性はこう」という無意識の思い込みの払拭が、第1歩だと思います。



太田委員長



農水省 秋田係長

来年度は、女性の理事登用について、**さらに実践的な取組**を行う必要があります。併せて、2025年度末以降も引き続き男女共同参画への取組に邁進していきたいと考えています。



富山委員



西委員



前田委員

【業務実践指針案についての委員の意見】

- ・土地改良区の規模が小さくてもどのように進めればよいか分かるようにすること。
- ・男性は外業、女性は内業が向いているというような無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が、男女共同参画の障壁となっているということの理解を求める記載が必要ではないか。
- ・操作手順書（マニュアル）の作成は効果的であり、例を示したら参考になると考える。

特別委員

大井川土地改良区
事業課 山下ますみ 主査



○仕事内容について

- ・主要な施設の操作や大雨時の操作対応、ごみ取りなどの業務は、事業課職員の男性とともに行っています。水防当番も2名体制で行えば務められるのではないのでしょうか。

令和5年11月15日・16日 全国から都道府県水土里ネット女性理事が参集

初の開催となる「都道府県水土里ネット女性理事意見交換会」が長野市において、全国水土里ネット・水土里ネットながのの共催により開催されました。

全国水土里ネット室本隆司専務理事の「食料安全保障と土地改良」の講演を聴講したあと、「土地改良を変えていくための運動の展開」などについて、活発な意見交換会が行われました。

【提言】

- **土地改良への理解を促すために、子供たちへの各地での取組を共有し、活用していく。**
- **このような意見交換会は継続すべき。また、地域性を鑑みてブロックごとにも開催することを提案する。**

ひと口メモ：都道府県水土里ネットの女性の理事割合は、都道府県+全土連で4.8%（令和5年11月1日時点）



土地改良団体における 男女共同参画推進ニュース 2024.3 第14号

「2025年度までに理事に占める女性の割合を10%以上に、女性理事が登用されていない組織数をゼロに」新時代にふさわしい土地改良団体の創造を目指して進めましょう！



2023年度アーカイブ

8/30

水土里ネット女性の会と学会が初コラボ、「どうする男女共同参画」をテーマに議論 ～2023年度(第72回)農業農村工学会大会講演会～ 連携シンポジウム：土地改良と農業農村工学 どうする男女共同参画

【開催趣旨】

ひとりひとりがイキイキと活躍する農業・農村を実現するために何が必要か、農政局、県、学会、水土里ネット女性の会、大学等の関係者を交え議論をすることで、仲間づくり、新しい発想や魅力発信につながることを期待して開催。

宮崎雅夫都道府県水土里ネット会長会議顧問 演題「ウェルビーイング農山漁村」

土地改良の分野における男女共同参画の推進は、少子高齢化等、社会の変化が今後さらに進展する中、取り組まなければならない最重要課題です。
ウェルビーイング※農山漁村の中でも大きな課題である。



※ウェルビーイング (Well-being) は、well (よい) とbeing (状態) からなる言葉。

9/27、28

全国水土里ネット女性の会 初の地方開催！ ～水土里ネット 男女共同参画推進大会 in Kazuno～ 大会テーマ：今、はじめる。まずはあなたの「まち」の土地改良区から

【開催趣旨】

全国の「水土里ネット女性の会」の会員及び関係者約200人が参加。男女共同参画の先進的な取組を研修し、意見を述べ合い、互いのネットワークを広げるとともに、土地改良区の将来の体制強化についてそれぞれが考える機会として開催。

主催者挨拶 根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長

男女共同参画は、男女がそれぞれの能力を發揮して輝き、活躍できる環境を実現するものであり、水土里ネットでも積極的に取り組み、運営に参画する人材の多様化を図って行かなければいけない。



10/11

優良事例として「土地改良における男女共同参画の取組」が紹介 ～第45回 全国土地改良大会 福井大会～ 「水土里 (みどり)」がある「幸福 (しあわせ)」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～

◇定司俊憲 南砺市土地改良区理事長 『土地改良区における女性理事登用』

我々には、土地改良をより良くし次世代につなげていく責務がある。
女性理事登用が土地改良区の発展につながると信じて、次世代のためにも前向きに取り組んでいきましょう。
女性理事登用にはいろいろな課題がある。課題解決に向けて、行政のバックアップをお願いしたい。



◇川合久利子 福井県土地改良事業団体連合会理事 ふくい水土里ネット女性の会副会長 『「女性理事」として』

水 (農業用水) 土 (農地) 里 (人の営み) を皆の力で未来の子どもたちへ



足羽川堰堤土地改良区連合理事長より依頼され川合理事が紙芝居の絵を担当。



11/8

水土里ネット女性の会のメンバーによる交流 ～令和5年度全国水土里ネット女性の会研修会～

柴田昌平 ドキュメンタリー映画監督講演

全国の水土里ネット女性の会より115名が出席。
本研修会では、土地改良団体におけるアンコンシャス・バイアス※への理解と解消のために専門家による講演と意見交換会を行った。

※アンコンシャス・バイアスは、無意識 (unconscious) の思い込み (bias) の意。



宮崎雅夫都道府県水土里ネット会長会議顧問を囲んで



農業をテーマとした記録映画『百姓の百の声』では、4年を掛けて全国の農家を訪ね自然と向き合う人たちの姿をありのままに映し出している。講演前には、土地改良区の管理状況について現地視察をしていただいた。今回は、「伝えること」の大切さについて映像を交え講演いただいた。

グループワーク

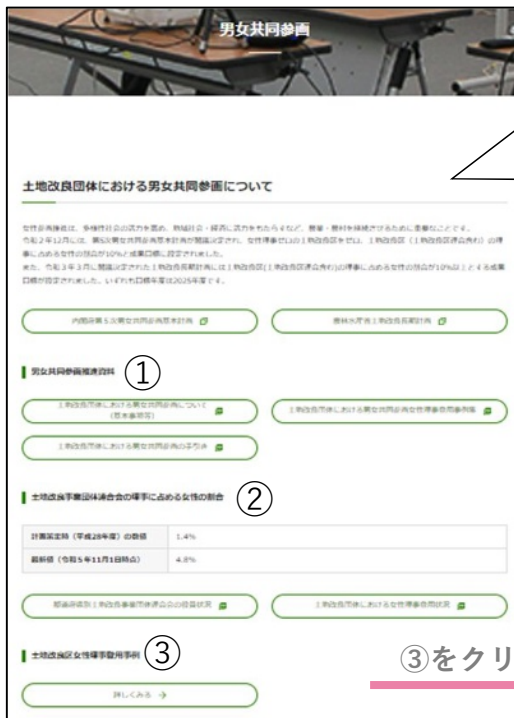
【意見等】

- ・事務責任者会議等、上層部の参加する会議でこそ、このような講義を行ってほしい。
- ・できることは一通り経験することで、自分が新たにできることに気付き、自信につながる。"結果的に効率"につながる！

公開中

女性登用
どうして、どうやって

◆ 全土連ホームページをご活用ください ◆



- ① 男女共同参画の「手引き」等基礎資料
→ 理事長研修等で使用しています
- ② 女性の理事の登用状況 → 統計資料
- ③ 女性理事登用事例 → 事例の抜粋は①にもあります



胆沢平野土地改良区（岩手県）さんの
ページからは『新・田舎人』に掲載
したインタビュー記事がご覧になれ
ます。



クリックで
PDFへ



全土連HP
男女共同参画
ページ

<https://www.inakajin.or.jp/gender-equality>

QRコード



◆ ピックアップ2023年度 男女共同参画の取組 ◆

随時
ご紹介します

月 日	場 所	行 事
8月30日	愛媛県	2023年度(第72回)農業農村工学会大会講演会連携シンポジウム 「土地改良と農業農村工学 どうする男女共同参画」 女性の会が学会と初コラボ
9月27日、28日	秋田県	水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno 初の地方大会
10月11日	福井県	第45回全国土地改良大会福井大会 男女共同参画を発信
11月7日	東京都	農業農村整備の集い 二階会長メッセージ
11月8日	東京都	令和5年度全国水土里ネット女性の会研修会 アンコン研修
11月15日、16日	長野県	都道府県水土里ネット女性理事意見交換会 初全国女性理事集結



土地改良団体における
男女共同参画推進ニュース
2023.12 第12号

「2025年度までに理事に占める女性の割合を10%以上に、女性理事が登用されていない組織数をゼロに」新時代にふさわしい土地改良団体の創造を目指して進めましょう！



令和5(2023)年度は
女性の理事登用
期限の中間地点！

女性の理事登用に向けた
更なる推進
研修会開催14道県



男女共同参画の視点を踏まえた
業務実践指針案の作成

「女性は力がないからできない。」から脱却
「女性が働くためにはどうする？」を検討

※令和5年度土地改良団体における男女共同参画推進のための業務実践指針作成検討業務（農林水産省業務）

令和5年11月14日 第1回有識者委員会開催 テーマ/業務実践指針案の作成

令和5年度有識者委員会委員（敬称略、五十音順）

- | | |
|-----------|---|
| 委員長 太田 信介 | 元農林水産省農村振興局長、前（一社）地域環境資源センター相談役 |
| 委員 富山 英幸 | 栃木県土地改良事業団体連合会常務理事 |
| 委員 西 彩 | 熊本県土地改良事業団体連合会総務部会員支援課長、全国水土里ネット女性の会副会長 |
| 委員 前田 博之 | 新潟北土地改良区工務課施設管理専門員、前新潟県土地改良事業団体連合会管理部長 |



全国土地改良事業団体連合会土地改良研究所 三木所長コメント

女性の理事は0.8%に伸びたが土地改良団体等は一層の努力が必要。今年度は、委員に議論いただき「業務実践指針」(案)を作成する。

農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課 秋田係長コメント

女性理事登用の達成に向け国はできる限りの支援を行う。今年、実践的な取組の検討も行う。土地改良が時代の変化に適用できるかが試されている。



太田委員長

女性の理事登用は、今までの取組が徐々に現実になりつつあるという実感を持っています。本年度、土地改良区の業務の実践指針を作るということは、女性理事の登用を加速することに加え、職員を含めた男女共同参画の実現を目指すという重要な意味があります。実際に具体的な取組が進むような成果をまとめたと思います。

- ・この1、2年の間に、理事長さんが男女共同参画について理解し、業務においては男女の差はない、という考え方に変わってきていると実感しています。
- ・女性職員が「女性ではできない。」と長年刷り込まれているところから脱却する必要があります。そのためには、職場で実例を示すことが必要です。
- ・女性職員がやる気を持つために、周囲（古参）の目などやる気をなくす要因を排除する必要があります。



富山委員



西委員



前田委員

★御協力ありがとうございます★

- 第1弾：土地改良区の業務内容について、研修会でアンケート調査を行いました。
第2弾：女性の視点から、土地改良区の業務の問題点・改善の方向性を把握するため女性職員(各道府県10名程度)を対象に12月にアンケート調査を行います。

よろしくお願いします



ひと口メモ

期限の2025年度まで2年、早めの対策を！
令和4年度6年間連続した0.6%が0.8%に
女性の理事が全国で264人から369人に

運動の
成果です

項目	目標値 (期限)	計画策定時 の数値	最新値
女性理事が登用 されていない組織数	0 (2025年度)	3,737/3,900 (2016年度)	3,911/4,199 (2022年度)
理事に占める 女性の割合	10% (2025年度)	0.6% (2016年度)	0.8% (2022年度)

第5次男女共同参画基本計画における成果目標の動向(令和5(2023)年3月31日時点)

男女共同参画は、土地改良団体の体制強化のためには必要不可欠な課題です。

男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていくために、みんなで努力しようではありませんか。



全国土地改良事業団体連合会
二階俊博会長 11/7農業農村整備の集い